

# 気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.14  
令和4年10月7日  
文責：校長 松野克己

## ちむどんどんした運動会



1年生表現「サチアレ」

では、これまでの「よさこいソーラン」と違ったバージョンを取り入れていました。5年生の「大玉ころがしリレー」では、バトンとなる大玉の受け渡しに工夫が見られました。右の写真の6年生「親子で協力！玉入れ」は、単に親子で玉入れをするのではなく、ハグタイムや記念撮影タイムがあって、親子のふれあいを深める工夫がありました。より楽しくするアイデアは、競技をする側にとっても見る側にとっても新鮮に感じることができます。もう一つは閉会式でも子ども達に伝えたように、練習から真剣に一生懸命に頑張っていたことです。子ども達がこれから練習を重ねて本番を迎えることは多々あります。社会体育や部活動はもちろん、受験もその一つに



6年生団体「親子で協力！玉入れ」

なるでしょう。練習をこつこつと頑張り、本番に備える習慣をしっかりと経験させていきたいものです。

新型コロナの広がりや運動会のやり方がそれまでと大きく変わりました。できれば来年度は人数制限はなくしたいと思いますが、地区テントを張らないことや午前中で終わることは、たとえコロナが収束してもそのまま続けたいと思います。地区テントを張らないことで視界が広がり、保護者も写真やビデオを写したい場所から撮影ができるようになりました。テント内の場所取りがなくなりました。準備や片付けも短時間でできます。また、午前中で終わることで種目数が減り、練習時間の短縮につながっていますし、熱中症防止に



中学年表現「佐志っ子ソーラン」

も役立っています。家庭用テントの場所取りもなくなりました。片付けもその日のうちに終わることができます。弁当の心配もありません。コロナ前は考えたこともありませんでしたが、やってみると半日の運動会にはいろんなメリットがあります。来年度も今のようなやり方で中身の充実した運動会を目指していきたいと思っています。



「応援合戦」赤組



「応援合戦」白組





# 大会・コンクールで入賞した人の紹介

七夕書き方会

【硬筆の部】



- 県入選 4年古賀ゆかり 5年千葉あなか  
 地区特選 1年岩本あやか 1年横山ゆう 2年井上さな  
 2年古賀ゆな 4年井上めい  
 地区入選 1年宮寄はすね 1年鶴のぞみ 1年坂本たいせい  
 2年岩本なつか 2年岡本ほのか 2年山口みく  
 3年飯田かのん 3年近藤ようた 3年山口ゆうじろう  
 4年山口よう 4年古賀とき  
 5年太田このみ 5年清水かいゆう 5年大石かねつぐ 5年岩田りお  
 6年森園みお 6年瀬戸ななこ 6年山口かい 6年早瀬あかり



【毛筆の部】

- 地区特選 5年坂本まひろ 6年宮崎ちほ  
 地区入選 4年田中しょう 4年上野にこ  
 5年太田あまね 5年井上ほのか 5年佐々木ことは 5年小久保かほ  
 4年野崎れんと 5年松永りくと  
 6年荒川きらら 6年小島りか



佐賀県児童生徒理科作品展唐津地区審査

- 地区入選 5年濱口りく 「佐志川の水や生き物」  
 5年坂本まひろ 「巨大シャボン玉」



理科作品展入選の2名

九電杯全九州わんぱく相撲大会

- 団体戦3位 4年山口よう 6年井手とらのすけ  
 個人戦 2年生の部優勝 2年井手あいのすけ



全九州わんぱく相撲入賞者

## 1年生手洗い教室

今年も食品衛生協会の方々に来ていただき、1年生に手洗い教室を実施してもらいました。新型コロナについては日々情報が入ってきますが、反面、食中毒はあまり取り沙汰されなくなりました。数年前までよく聞かれた「ノロウイルス」。その流行期が低温低湿度となる11月から3



月の間。症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、その最も効果的な予防法は手洗いだそうです。今、新型コロナ感染防止で手のアルコール消毒をすることが多くなっていますが、石けんを使った丁寧な手洗いはノロウイルス予防に不可欠なんだそうです。

子ども達は手洗いの大切さや上手な手の洗い方を教えてもらった後、自分の手についていた汚れをブラックライトで見せてもらいました。爪の隙間や指の間の汚れは、さっと水洗いした程度では取れません。小さいうちから上手な手洗いを身につけさせたいものです。